

「自治体の災害意識・災害対応について」

須藤 海

要旨

本研究においては、自治体の防災意識と災害対応についてを比較・分析する。まず、客観的にすぐ対応の差が分かるハザードマップを作成している自治体、作成していない自治体を明確にする。そこからハザードマップを作成している自治体、作成していない自治体の財政状況や地形、地域の特徴、過去の災害、防災の取り組みなど比較し、自治体の防災意識の違いを述べる。その結果を踏まえて私は自治体の防災意識の向上を目指すには水位周知河川の拡大、住民参加型ハザードマップ作り、住民が防災協定を提案できる制度が有効であることを提言する。自治体の防災意識向上には広域自治体、国、住民など協力が必要である。また自治体の防災意識向上の取り組み、ハザードマップのあり方など防災対応について検討を加える。